

第1学年 やまがたのスペシャリストに聞くトップセミナー

山形県教育委員会では、キャリア教育推進事業の一環として「やまがたのスペシャリストに聞くトップセミナー」を各校で開催しています。様々な分野において第一線で活躍されている方（スペシャリスト）を講師にお招きし、成功に至るまでの御苦労や葛藤など、普段なかなかお聞きすることのできないお話に触れることにより、高校生の進路意識のさらなる高揚を目指しています。

本校では、11月14日（月）午後、1年生を対象として本校体育館で開催しました。講師として、佐藤繊維株式会社 代表取締役社長 佐藤正樹さん をお招きして、「オンリーワン企業を目指して」と題して講演いただきました。

佐藤さんは、昭和7年に寒河江市で創業された佐藤繊維株式会社の4代目社長として、古い紡績機を駆使して様々なオリジナル糸を開発するとともに、独自ブランドを立ち上げるなど、世界的に活躍なされています。

東京でアパレル関係の仕事をしていた佐藤さんが、地元に戻って会社を継いだ時は売上げがピークでしたが、その後、外国産の安い糸やニットが日本国内に流通し、辛酸を嘗めたそうです。そこで佐藤さんは、「これからの時代は、言われたものを言われたとおりに作るのではなく、自分でつくりたいものを考えてつくること」の大切さを実感したそうです。その矢先に、イタリアの糸をつくる工場を訪問し、工場長の「俺たちが世界のブランドをつくっているんだ」という、ものづくりに対するプライドを熱く語る姿勢に感化され、日本に戻って、「これからは自分たちがつくりたい糸をつくろう」と、社員とともに試行錯誤しながら取り組んできました。その結果、現在では世界にふたつとないオリジナル糸をつくり上げ、さらに、ニット製品の自社ブランドまで立ち上げました。

このような壮絶な体験を経た佐藤さんの言葉には、非常に重みがありました。「できない人間ほど、できない理由を言う」「成功する人間は『どうしたらできるか』を考える」との言葉には、聞いている者の多くが「なるほど」と頷きました。また、『『良いものをつくれれば売れる』という時代は終わった。これからは『製品をどういう風に見せるか』という物語が大切になる』という、これからの企業に求められる経営の視点についても触れてくださいました。

講演の時間は、本当にあっという間に過ぎ去りました。佐藤さん、お忙しい中、大変貴重な御講演をしてくださり、ありがとうございました。佐藤さんのますますの御活躍を祈念しております。

